



ムーバス

東急ストア前停留所の 新設に力をつくします

森 徹市議 武蔵野市との協議をおこなうよう、三鷹市に申し入れました

上連雀一丁目のみなさんからムーバスが東急ストア前に停車してほしいという声が多く寄せられています。上連雀一丁目には商店街がありません。ところがムーバスが終点の三鷹駅までいってしまうと、東急ストアまで戻らなくてはなりません。そして、帰りは重い買い物を持って三鷹駅まで歩きます。高齢者にはたいへんです。楽しく買い物をするには、東急ストア前の停留所設置が必要です。

そこで、森 徹市議は、武蔵野市との協議をおこなうよう、三鷹市に申し入れました。



申し入れをする森徹市議（写真左）と住民代表（写真中央）

上連雀一丁目のまぢづくりに なくなってはならない人

上連雀一丁目在住 福本昭夫

ムーバスの上連雀一丁目の運行は、森徹市議の尽力があつて実現しました。

上連雀一丁目の住民は三鷹駅に出るにも、武蔵境駅に出るにもたいへんでした。そこで私たちが路線バスのない住民は、十年前、最寄駅を結ぶミニテイバスの運行を求める署名運動を起し、当時の三鷹市長に申し入れました。そのとき、私たちの運動を理解され、市議会質問でとりあげてくれたのが森徹市議でした。必須の生活手段である要望を無視された私たちをいつも励まし、高齢化がすすみ少子化で日常の買い物、通院もままならない実情をご理解され、ねばりよく私たち住民と一緒に実現に向かって行動して下さいる誠実な人です。

3・3・6号線（調布・保谷線）開通にともなう新たな環境悪化の課題に対処するうえで、頼りになる人、欠かせない人です。

南北を走る3・3・6号線道路建設問題でも、森徹市議は住民と環境保護の立場に立って、「そんな大きな道路はいらない、片側一車線道路を」と東京都に求め、その先頭にたっていたいただきました。

しかし、3・3・6号線道路が建設されています。3・3・6号線道路ができた場合、交通量の増大、大気汚染、騒音など新しい住・環境問題も起きてきます。新たに発生してくる問題を解決しなければならぬ事態がくると思います。これからの上連雀一丁目の住・環境とまぢづくりの課題を解決するには、森徹市議の存在は欠かせません。